

【例題－警察官A1】

最近の日本における外国人の動向等に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 2014年の在留外国人数は約500万人で、総人口の約4%を占めている。男女別に見ると、男性の方が多く、国籍・地域別に見ると、韓国・朝鮮が全体の過半数を占め、以下、中国、フィリピン、ブラジルと続いている。
2. 2014年の外国人労働者数は200万人を超え、過去最高となった。増加した要因として、単純労働分野での外国人労働者の受入れを促進する政府の取組が進んでいることや、外国人労働者を雇用した場合の届出制度が廃止されたことが考えられる。
3. 国際競争力強化の観点から、高度な技術や専門的な知識を持った外国人材の受入れが抑制されることとなった。また、不法就労・不法滞在につながらないようにする仕組みが不十分であることなどから、外国人技能実習制度の廃止が決定された。
4. 2014年の訪日外国人旅行者数は、ビザの大幅緩和や消費税免税制度拡充などにより、過去最高となり、訪日外国人旅行消費額も過去最高額となった。いずれも国籍・地域別では、中国、タイ、マレーシアなどが前年に比べ大幅に増加した。
5. 来日外国人による刑法犯の検挙件数を国籍・地域別に見ると、侵入窃盗ではブラジルが、自動車盗では中国が最も大きな比率を占めている。検挙件数に占める共犯事件の割合は日本人と比べて低く、単独で犯罪が敢行される傾向がうかがわれる。

(正答) 4